



KONICA MINOLTA

# コニカミノルタ株式会社 株主通信

2024年 秋号

証券コード：4902

Giving Shape to Ideas

## 株主の皆様へ

### 2024年度上期(4~9月期)実績

2024年度上期の連結売上高は増収、事業貢献利益\*は前期比で大幅な増益となりました。オフィス、プロダクションプリント事業の収益性向上、非重点事業の収益性改善が寄与しました。一方、営業利益は、中期経営計画の施策実行による一過性費用(グローバル構造改革の費用や、中国江蘇省無錫市の生産子会社での生産終了にかかる費用など)を計上した影響を受け、7億円の営業損失となりました。親会社の所有者に帰属する当期利益(以下、当期利益)は円安進行に伴う為替差損を含む金融収支の悪化により107億円の赤字となりました。

\* 売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を差し引いた利益。当社独自の利益指標

### 中期経営計画(2023~2025年度)の進捗

当社は、高収益企業へ回帰することを目指し、3つの取り組みを進めています。

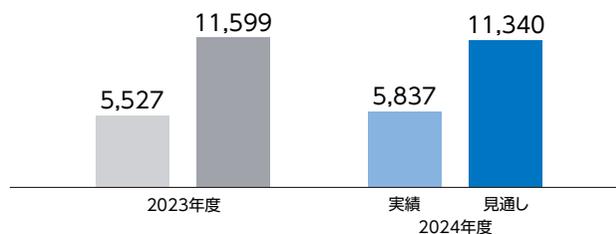
1つ目は「事業収益力の強化」です。各事業に対する期待と役割を明確にし、事業の選択と集中を図ります。成長を期待する強化事業への資源再配分、収益堅守事業としたオフィス事業の収益力向上、収益性の改善が必要な非重点事業の第三者資本の活用などです。2024年度上期には、オフィス事業およびプロフェッショナルプリント事業の生産体制の最適化を目指し上述の中国生産子会社での生産を2025年度前半に終了することを決定しました。また、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社と合併会社設立に関する株主間協定書を締結しました。商品の強固な供給体制の構築や業務プロセスの効率化など、事業基盤の強化は順調に進んでいます。非重点事業ではプレジジョンメディシン事業にお

ける創業支援サービスを提供する米国子会社Invicro社の持分譲渡を完了、また遺伝子検査サービスを提供するAmbry Genetics社の株式を譲渡する契約を締結しました。

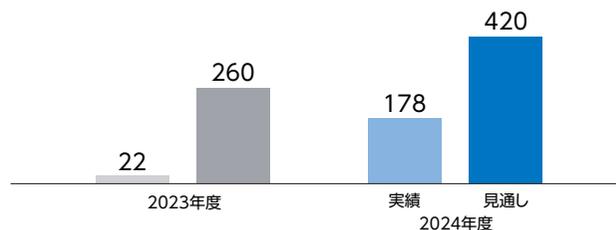
2つ目は「収益基盤強化のための構造改革の実行」です。コスト構造改革、資産効率改善による財務基盤強化とキャッシュ創出力改善を進めます。具体的には、2024年度に事業の選択と集中による赤字事業の収益性の改善に加え、グローバル構造改革による当社グループ全体の生産性向上を目指します。こうした取り組みにより事業貢献利益は増加しますが、非重点事業の第三者資本活用、事業の選択と集中に伴う一過性費用などを計上するため、2024年度は営業損失を前提としています。しかし2025年度からはこれらの施策による利益押し上げ効果が発現し、本格的かつ持続的な成長を

### 業績ハイライト (単位:億円)

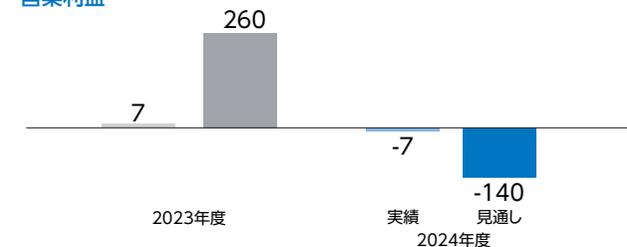
■ 第2四半期(累計) ■ 通期  
売上高



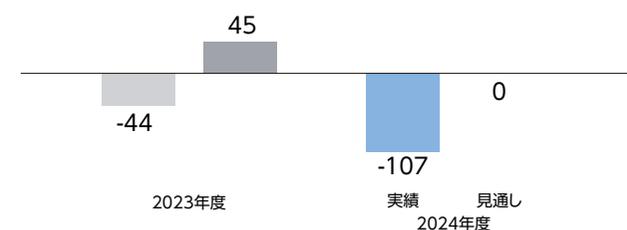
事業貢献利益



営業利益



親会社の所有者に帰属する当期利益

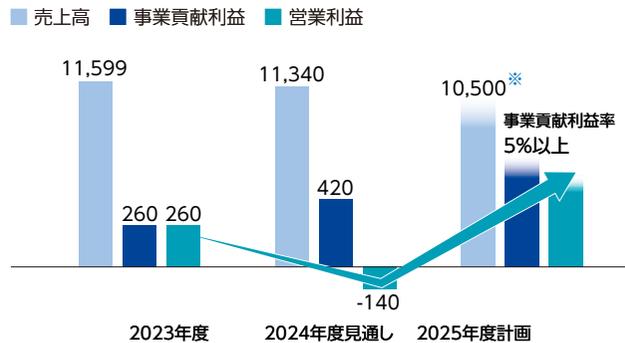


見込んでいます。

また、キャッシュ創出力の向上に伴う有利子負債の返済による支払利息の削減等を図ることで金融収支の改善に取り組み、当期利益の改善を目指していきます。

3つ目は「事業管理体制の強化」です。投資評価・事業レビューの見直しなど事業のパフォーマンスを明確化し、事業の選択と集中を加速する体制を構築していきます。

### 業績計画 (単位:億円)



\* 非重点事業の非連結化後

### 株主様への還元、配当見通しについて

2024年度は2025年度以降の成長に向け改革を実行する年度であり、一過性の費用を見込んでいることから、当期利益の見通しをゼロと予想しています。このため、中間配当、期末配当とも無配とさせていただく見通しです。中長期的に株主の皆様へ安定的な配当を実施できるよう、今年度は創出したキャッシュを財務基盤の強化に重点的に振り向けるため、この判断をしました。株主の皆様にはご理解と変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## TOPICS

### 世界最大規模の印刷・メディア産業展「drupa 2024」に出展

8年ぶりのリアル開催となった「drupa (ドルツパ) 2024」。印刷工程の自動化・省力化、環境負荷低減を支援する当社製品は世界中のお客様から多くの反響をいただき、11日間の会期中、過去を大きく上回る200件を超える商談の成約を達成しました。



### GPIFのESG指数である全インデックスに8年連続で選定

当社は、世界最大の公的年金基金である年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が採用する日本株のESG投資指数\*のすべてに8年連続選定されました。GPIFが採用するESG指数の構成銘柄に選定されることは、企業の持続可能性や環境・社会・ガバナンスへの取り組みが高く評価されている目安になり、資本市場における企業の信用・評価向上につながります。

また、社会的責任投資において世界で最も良く知られる指数の一つである「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄にも、21年連続で採用されました。

\* [FTSE Blossom Japan Index] [FTSE Blossom Japan Sector Relative Index] [MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数] [MSCI日本株女性活躍指数] [S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数] [Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index]

### 株主優待

#### 当社製カレンダーの進呈

国内の個人株主の皆様\*1に、当社製カレンダーを進呈します\*2。

\*1 9月末時点の株主名簿上で100株以上をお持ちの皆様

\*2 11月末から年末にかけて随時発送します。



単元(100株)未満株式の  
買い取り・買い増し制度をご活用ください。

<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

証券会社にお取引口座をお持ちの株主様は、証券会社にご相談ください。

その他株式のお手続きに関するお問い合わせは

**0120-232-711**

(平日9:00~17:00)

通話料無料(三菱UFJ信託銀行 証券代行部)

## コニカミノルタ株式会社

〒100-7015 東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー  
法務部 TEL:03-6250-2000

<https://konicaminolta.com>

この株主通信に記載されている当社の現在の計画・戦略および将来の業績見通しは、現在入手可能な情報に基づき、当社が現時点で合理的であると判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績はさまざまな要素によりこの株主通信の内容とは異なる可能性のあることをご承知おきください。(2024年11月発行)